

平成 19 年度「地域密着型金融」の取組み状況について

平成 20 年 7 月
朝日信用金庫

当金庫は、これまでの 2 回にわたる地域密着型金融（リレーションシップバンキング）の取組みを経営理念実現の場と位置づけ、積極的に推進してまいりました。そして、今後も信頼の絆を大切にして、地域で最も必要とされ、最も信頼される金融機関となるよう「地域密着型金融」の推進のため、新たな施策を策定いたしました。

経営理念である『ベストコミュニティーバンク』『街の鼓動に敏感です』をスローガンに日々努力をしておりますが、ここに平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月までの取組み状況がまとまりましたのでお知らせいたします。

対象期間

平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

1. ライフサイクルに応じたお取引先企業の一層の強化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

当金庫は従来から狭域高密度の営業方針を基本に、活動を展開しております。そうした中、地域における創業期企業、新事業展開を計画中のお客さまに対する支援の強化は、中小企業専門金融機関が特に力を入れて取り組むべき課題であることから、積極的に取り組んでまいりました。

今後も、創業・新事業支援機能を一層強化するため、職員の「目利き能力の向上」に努め、より多くのお客さまのお役に立てるよう努力してまいります。

<「創業」資金ご融資実績>

	平成 18 年度	平成 19 年度
件 数	135 件	145 件
金 額	10 億円	10 億円

(2) お取引先企業の事業再生に向けた積極的な取組み

お取引先企業の事業再生に向けた取組みのため、平成 15 年 7 月に「経営支援センター」を設置し、本格的な経営改善支援と事業再生のチームとして活動してまいりました。また、様々な再生スキームが開発されており、中小企業再生支援協議会などの外部機関と連携し、お取引先の真の支援に結びつく事業再生計画の策定等、実効性の高い支援を行ってまいりました。平成 19 年度の経営改善支援取組み率、ランクアップ率、再生計画策定率は下表のとおりとなっております。

今後も、経営改善を必要とするお取引先を本部・営業店が一体となってサポートしてまいります。

<平成 19 年度 経営改善支援の取組み実績>

		(単位：先数)					(単位：%)		
		期初債務者数 A	うち経営改善 支援取組み先数 B	Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数 C	Bのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 D	Bのうち 再生計画を 策定した先数 E	経営改善 支援取組み率 B/A	ランク アップ率 C/B	再生計画 策定率 E/B
要 注 意 先	うちその他 要注意先	4,531	196	79	115	0	4.3	40.3	0.0
	うち要管理先	113	2	2	0	1	1.8	100.0	50.0
破綻懸念先		1,246	113	54	59	30	9.1	47.8	26.5
実質破綻先		467	0	0	0	0	0.0	-	-
破綻先		299	0	0	0	0	0.0	-	-
小 計		6,656	311	135	174	31	4.7	43.4	10.0
正常先		26,287	0	-	0	0	0.0	-	-
合 計		32,943	311	135	174	31	0.9	43.4	10.0

2. 事業価値を見極めた融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

当金庫は、金庫独自のスコアリングモデル融資商品の取扱いや中小企業金融公庫 CL0 への参加等、お取引先企業の事業価値を見極め、担保・保証に過度に依存しない資金供給手法への取組みを行ってまいりました。

今後ともこれらの融資商品の有効活用を図っていくとともに、資金供給手法の多様化を図るため、商品の拡充やお取引先のニーズに沿った商品を提供できる体制を継続してまいります。

<「中小公庫 CLO」取扱い実績>

	平成 18 年度	平成 19 年度
件 数	100 件	95 件
金 額	26 億円	23 億円

3. 地域の情報を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) お取引先に対する相談業務・支援機能の強化

「お客さまサポートセンター」では、ファイナンシャルプランナー等の専門スタッフがお取引先からの相続・贈与・不動産の有効活用等に関するご相談をはじめ、会社のコンサルティング業務・新連携支援など、幅広いご相談にお応えしております。

また、中小企業基盤整備機構との「業務連携・協力に関する覚書」の締結により、地元中小企業のお取引先へのご支援やベンチャー企業の育成支援など、中小企業のお客さまへの支援策を強化いたしました。

<「お客さまサポートセンター」ご相談件数>

	平成 18 年度	平成 19 年度
個 人	390 件	499 件
法 人	232 件	179 件
合 計	622 件	678 件

(2) 地域を担う世代への金融業務を通じた地域経済への貢献

地域を担う世代に金融業務の学習を通じて、社会性、コミュニケーション能力や働くことの大切さなどの職業観・就労意識の醸成を図るため、各店で地元中学生・高校生を対象とした職場体験学習にご協力しています。平成 19 年度は、中央支店、新小岩支店において地元中学生の職場体験学習が行われました。また、インターンシップ制度による大学生・短大生の受入れ、就業体験実習を行いました。

4. その他

(1) 人材の育成

お取引先に対し財務・税務面等のアドバイスのできる人材や経営支援、将来性、技術力を的確に評価できる能力（目利き能力）の向上を図る観点から、実践的な研修（OJT・集合研修）を実施するとともに、休日講座や外部主催の研修により、その知識の習得を図りました。また、中小企業診断士の資格取得のため中小企業大学校へ職員を派遣するなど、人材の育成を行ってまいりました。

今後も、高度な経営支援・再生が行える人材の育成に努めてまいります。

(2) お客様ニーズを踏まえた融資商品の提供

当金庫は地域の中小企業専門金融機関として、従来から小口多数取引の原則に則り、ご融資先への定期的な訪問活動を通じて1先1先のお客様ニーズに最適な商品や制度をご提案しております。その結果として、信用保証協会の利用件数、保証承諾額は都内金融機関の中でも際立った実績であります。今後においても、お客様ニーズに沿った商品のご提案を心掛けるとともに、保証協会との連携による商品開発も含め、資金供給の円滑化に努めてまいります。また、近年の環境保全ニーズを踏まえ、地球環境保護や公害防止に取り組むお客様を支援するための環境対応型融資商品も継続して取扱ってまいります。

以 上